



とかみまち

# 戸神町みどりの会（沼田市）

## 地区の概要

平地農業地域

- 戸神地区は沼田市内から一望できる戸神山（通称：三角山）の麓に位置し、五代沼田領主真田伊賀守の時代、寛文元年（1661）に起工した歴史ある真田用水によって開墾した農村地域である。
- 本地区は農家の高齢化や混在化が進む中、真田用水の維持管理および環境保全を主事業として、地域住民一体となり、活動に取り組んでいる。
- 今後も引き続き、住民の団結力と郷土愛によって、地域資源の適正な保全管理を実行できる地区である。

取組面積	25.5 ha (田 17.0 ha、畑 8.9 ha)	
資源量	水路	7.2 km
	農道	5.9 km
主な構成員	農業者、非農業者、育成会、老人会	
交付金	約 198 万円	
	〔 農地維持支払 資源向上支払（共同、長寿命化） 〕	

## 推薦項目

<input checked="" type="checkbox"/> 子供の参画	<input type="checkbox"/> 女性の参画
<input type="checkbox"/> 学校と連携	<input type="checkbox"/> 行政と連携
<input type="checkbox"/> 地域交流	<input type="checkbox"/> 参加率
<input type="checkbox"/> 事務に工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 広報
<input checked="" type="checkbox"/> 環境保全	<input checked="" type="checkbox"/> 工事
<input checked="" type="checkbox"/> 遊休農地解消	

## 取組内容

- 草刈り、水路の泥上げ、遊休農地発生防止のための保全管理を実施している。
- 子ども会を対象に農業体験を実施し農業や地域資源の保全への理解を深めている。
- 景観形成活動を積極的に行っており、農村環境の改善に取り組むとともに地域交流の重要な場となっている。

## 取組の効果

- 活動を通じて農地や農業用水路が地域の資源であるという認識が住民に浸透してきている。
- 農家と非農家が一体となった活動が展開されており、地域の活性化につながっている。
- 水路の改修により、農地の荒廃を防止している。



◇ 農道の草刈り



◇ 遊休農地を活用した農業体験



◇ 農道の砂利補充



◇ 用水路補修